

# 平成30年度学校評価

## 1めざす学校像

- しつけ教育に力を注ぎ、道徳の涵養に努力し「強く、正しく、優しい」人間を育成する。
- 生徒個々の個性、適正を充分に考慮指導し、希望する「目標」に到達できるように努める。
- 国際社会をはじめ、あらゆる社会において活躍できる「ボランティア精神」の育成に努める。

## 2中期目的

<b>1学習指導</b> 予習復習を怠らず、自ら種々の研究材料を選び、自発的に学習する力をつける 生徒個々の学習状況に応じた指導体制の構築
<b>2生活指導</b> 基本的な生活習慣の確立 校舎内外の整理整頓、環境の浄化 社会的ルール、交通規範の遵守
<b>3進路指導</b> 安易な進路選択を避け、自らの目標を高めに設定した上で、それに向けて最後まで努力することができる人間の育成
<b>4生徒会・JRC</b> 文化祭・体育祭等の行事に対し、生徒の自主的な取り組みができる力を身につける 各クラブ活動が活性化されるよう、活動を全生徒に促進しその協力をしていく 生徒自身が学校内での様々なルールを見直し、自分たちが作り上げたルールを遵守する力を身につける JRCの精神のもと、社会において様々な場面で活躍できる「ボランティア精神」の育成に努める

## 学校評価アンケート

＜教職員による自己評価＞

分類	評価の観点	評価項目	設問	評価 A(%)	評価 B (%)	評価 C (%)	評価 D (%)
学校運営	私学の独自性	1. 教育方針	教育方針が生徒・保護者に理解されている。	35%	60%	5%	0%
		2. 愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	30%	44%	26%	0%
		3. 集団行動について (体育実技)	生徒集団の規律維持に役にたっている。	58%	35%	5%	2%
	教育課程	4. 学習指導要領の 対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	60%	40%	0%	0%
		5. 教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立て、計画に基づき実施している。	60%	40%	0%	0%
		6. 新教育課程 (26年年度入学生対応)	新教育課程は生徒の実態にあっている。	35%	56%	9%	0%
	教科指導	7. 指導内容	各教科は指導内容の工夫・改善につとめている。	58%	40%	2%	0%
		8. シラバスの作成	生徒が年間の授業内容・進度等を良く理解できるように、綿密なシラバスを自ら作成している。	37%	53%	9%	0%
		9. 指導方法	教科内の意志疎通が十分である。	40%	56%	5%	0%
		10. 授業内容	生徒が授業内容に満足するよう、自分自身は十分な準備をした上で授業に臨んでいる。	63%	33%	5%	0%
		11. 授業開始	授業はチャイムと同時にスタートしている。	67%	30%	2%	0%
		12. 発問	適切な発問をすることで、生徒の集中力が持続できるよう自分自身心がけている。	47%	49%	2%	2%
		13. 板書	適切な発問をすることで、自分自身わかりやすい授業を心がけている。	58%	37%	5%	0%

分類	評価の観点	評価項目	設問	評価 A(%)	評価 B (%)	評価 C (%)	評価 D (%)
学校運営	教科指導	14. 定期的な課題	授業内容の定着を図るために、自分自身生徒に課題を定期的に課している。	53%	44%	0%	2%
		15. 生徒の満足度	生徒の満足度自分自身の授業を受けることにより、生徒は満足している。	33%	53%	14%	0%
		16. 学力向上	自分自身の授業を受けることにより、生徒は学習に対する意欲をかき立てられ、学力を伸ばしている。	33%	56%	12%	0%
		17. 成績評価	成績の評価基準・方法は教科方針に沿い適切に実施している。	60%	35%	5%	0%
		18. 家庭学習について	各教員は、家庭学習の習慣を積極的に生徒に身につけさせている	40%	47%	9%	5%
	教職員連携	19. 校務分掌における教員の連携状況	分掌内で相互理解がなされ、信頼関係に基づき教育活動が行われている。	47%	40%	14%	0%
20. 学年団における教員の連携状況		学年内で相互理解がなされ、信頼関係に基づき教育活動が行われている。	47%	42%	12%	0%	
教育内容	情報教育	21. 情報モラル指導	情報発信に伴う責任など情報のモラル面の教育を十分取り組んでいる。	42%	51%	7%	0%
	人権教育	22. 退学生徒について	退学生徒の防止について各教員は積極的に取り組んでいる。	51%	47%	2%	0%
		23. 家庭訪問	退学生徒の防止のため、自分自身家庭訪問を積極的に実施している。	47%	47%	7%	0%
	環境教育	24. 環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	35%	53%	12%	0%
		25. 実践的態度の育成	生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	58%	42%	0%	0%
	生徒会活動	26. 生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう、学校全体が支援している。	42%	47%	12%	0%
	その他	27. 部活動	自分自身は部活動の顧問活動を積極的に取り組んでいる。	44%	33%	23%	0%
		28. ボランティア	ボランティア活動は活発である。	37%	30%	30%	2%
		29. 学校行事	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	40%	47%	14%	0%
		30. 国際理解	修学旅行を通じて他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	47%	47%	5%	2%
		31. 公開授業	公開授業は自分自身積極的に取り組んでいる。	37%	42%	16%	5%
生徒指導・支援	生徒指導	32. 生徒指導の一貫性	生徒指導は共通の方針に基づき、各教員は校則やきまりをきちんと生徒に守らせている。	49%	51%	0%	0%
		33. 礼儀・あいさつについて	生徒の指導体制に組織的に対応する集団指導の体制がある。	58%	40%	2%	0%
		34. 家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携ができています。	44%	53%	2%	0%
	生徒支援	35. 自習室の設置について	自習室は生徒の学習支援の場として機能している。	53%	42%	5%	0%
		36. 進路指導について	受験に際し、生徒の学力に応じた分析等の支援体制がある。	51%	49%	0%	0%

#### 自己評価アンケート結果

私学の独自性 教育課程の観点は、おおむね高評価である。  
特に学習指導要領対応、教育計画については60%のA評価が出ている。  
教科指導の観点は、生徒満足度、学力向上に課題が見えるものの総じて良い評価となっている。  
また、授業内容・授業開始など高評価ではあるが、教員の自覚をさらに促していきたい。  
教職員連携について、分掌・学年・コースでさらに有機的に連携を図れる取り組みをおこないたい。  
教育内容の観点から、環境問題の意識向上、ボランティアに課題が見受けられる。  
教育方針でもあるボランティア精神の育成について、次年度さらに充実させたい。  
生徒指導・支援の観点から 礼儀・挨拶が高評価となっている。

集団行動・学年、コース集会など定着してきたものと思われる。  
 生徒支援の観点、自習室の設置、進路指導とも高評価となっている。  
 この点については、安心することなくさらに生徒指導・支援の拡充を図りたい。  
 課題となる点については、今後とも改善、意識啓発等努力してゆく。

### 3 本年度の取組内容

中期目標	今年度の重点目標	具体的な計画	評価指標	自己評価
学習指導	成績不振生徒対策	・学期ごと欠点者に対するの補充実施	実技教科以外実施 欠点科目克服をめざさせる	欠点科目数減少 生徒の意識も変わってきた。
	自習室の活用	・低学年からの自習室の利用促進	昨年よりの増員	3年生の利用に比べると低学年の利用はすくないものの、前年より増加してきている。
	講習の充実	・授業終了後の7・8限を活用し課外特別講座実施	2・3年特進コース実施 3年進学・総合コース実施	2・3年特進コース全員参加で実施。 総合コース講習参加者増加
	長期休暇中講習	・夏期、冬期、春期講習の実施	全学年での実施	全学年で実施。 3年生については進路目標に向け実力養成につとめた。 1・2年生については、基礎力の充実さらに、特進コースでは応用力の強化につとめた。
	勉強合宿	・夏期勉強合宿実施 ・春期勉強合宿実施	2年特進コース 2年進学コース	2年特進コースは生徒全員を対象とし、夏期講習の総仕上げとして成果を上げた。 2年進学コースを対象に、受験生への意識付けができた。
	ベル着の徹底	・ベル着50分授業の徹底	ベル着徹底	「ベル着」については、徹底できてきたように思われる。 50分授業徹底についても徹底されてきた。
生活指導	挨拶の励行	・学年、コース集会実施	集会を月1回以上実施	各学年会・コース集会が機能してきたように思われる。 また、積極的な意見交換ができています。 挨拶については、生徒自身意識的にできるようになってきた。
	全校朝礼	・毎週金曜日全校朝礼実施	全体の集合する早さ、整列の整い方	本校独自の全体集会で、1100名の生徒が各自意識し、時間短縮できるようになってきた。
	社会的規範遵守	・講演会実施	外部よりの講演	大阪府警より「大麻」についての講演を全学年実施。
	交通ルール遵守	・登下校時の周辺道路等見守り	学校周辺道路立ち番実施	原則授業日は見守り実施。 (登校時・下校時実施) 地域のボランティアの方々とも連携でき、交通ルールの遵守、挨拶励行など一定の評価ができる。
	校舎内外の清掃活動	・全体清掃を月に1回	自分たちの使う場所をいつもきれいに	月に1回の全体清掃を含め、毎日の清掃により多くの生徒が校内外美化を意識するようになった。
生徒会 JRC活動	新入生の学校活動へのスムーズな導入	新入生校内オリエンテーション及び宿泊オリエンテーション	生徒会・JRC役員らの自主性を重んじる	生徒会・JRC役員との自主的な取り組みの中多くの新入生の緊張が緩和され、スムーズな学校生活のスタートを切ることができた。
	各行事の遂行	文化祭としての取り組み	文化的な取り組みの喚呼 生徒の自主性を重んじる	特に本年度は、生徒の積極的な取り組みが舞台発表等に見られた。全体的に成功裏に終了することができた。 生徒も教員も一丸となり積極的に取り組んだ。

		<p>体育祭としての取り組み</p> <p>ボランティア活動の啓発</p> <p>義援金の募金活動</p> <p>JRCTトレーニングセンターへの参加 献血ボランティア等への参加</p>	<p>生徒全員の充実した参加</p> <p>生徒自身の自主性を促す</p> <p>”</p>	<p>学校全体が非常に盛り上がった。府立体育会館を会場に、様々なパフォーマンスを発揮する生徒が多く見受けられた。また3年生男子・女子合同によるマスゲームはそれぞれが本校の伝統を引き継ぎ、1・2年生教員保護者たちに感動を与えた。</p> <p>生徒の自主的な取り組みが大きく見られた特に、文化祭・体育祭での募金活動では、多くの義援金を日本赤十字社を通じて被災地へ送ることができた。</p> <p>また赤十字の理念のもと、多くの赤十字に関する知識を外部で学び、自己の生活内及び本校にその知識を持ち帰ることができた。地域社会にもその精神は活かされている。今後の活動にも期待が持てる。</p>
進路指導	進路意識の育成	<p>進路意識を向上させる。</p> <p>職業分野別説明会の実施。</p> <p>大学の模擬講義を実施。</p> <p>進路説明会の実施。</p> <p>進路講演の実施。</p> <p>進路講演の実施。</p>	<p>進路希望調査の実施 (4月と9月に実施)</p> <p>1年生を対象に実施した。生徒は複数講座から職業講座を2つ選択し、自分が選択した職業を学んだ。職業観の育成を狙いとしました。</p> <p>2年生を対象に実施した。生徒は複数講座から学問講座を2つ選択し、自分が選択した学問を学んだ。学部・学科について知ることを狙いとしました。</p> <p>3年生の生徒・保護者を対象に二部制で実施した。第一部は進路全般。第二部は4分野からの選択制。進路意識を高めることを狙いとしました。</p> <p>1年生を対象に実施した。職業観を高め、今自分が残り2年の高校生活においてすべきことを考えさせることを狙いとしました。</p> <p>2年生を対象に実施した。進路意識を高め、進路の実現に向けて今何をすべきかを考えさせることを狙いとしました。</p>	<p>例年と同じく、どの学年も大学進学を希望する生徒の割合が一番多い。学年別に数値を見てみると、1年生の大学進学希望者は4月で58.7%、9月は58.9%と微増。2年生の大学進学希望者は4月で75.7%、9月では74.5%、と1.2ポイントの減。3年生の大学進学希望者は4月の時点では68.0%、9月は64.8%と3.2ポイント減となった。</p> <p>2年生に向けての文理選択の時期と重なったこともあり、生徒たちは選択した職業の講座に積極的に耳を傾けていた。説明会終了後気がついたことを生徒たちはポートフォリオノートに蓄積した。</p> <p>昨年度から「学問分野別説明会」の実施をやめて「大学教員による模擬授業」を実施している。今年度も生徒たちには好評であり進路に向けて、より幅広く考えることができた。</p> <p>第一部ではこの後の進路の流れについて大まかにつかむことができすべきことの全体像が見えてきて進路意識が高まったようである。第二部では「大学・短大」「専門学校」「看護医療」「就職」の各分野においてそれぞれ理解が深まり、今後のやる気につながった。</p> <p>山内太地さんを講師としてお招きし「将来の進路の選び方」というテーマで講演をしていただいた。最初は少し硬い表情だった生徒たちも講演後の質疑応答の時間になると生徒たちの質問の手が驚くほどに上がることとなった。進路に関する発見がかなりあったようでその発見をポートフォリオノートに意欲的に蓄積していた。</p> <p>マイナビから講師を招いて「進学とその先を考えよう」をテーマに講演をしていただいた。今この時期にすべきこと、考えるべきことを身近なところからわかりやすく解説していただき、生徒たちにも好評であった。</p>

	大学見学会の実施	2年生特進コースを対象に実施した。文系特進と理系特進は関西大学、看護医療系特進は関西医療大学を見学した。	関西大学は本校卒業生たちが学校を案内してくれたりプレゼンテーションをしてくれたりしたこともあり、生徒たちにとってはとてもいい体験になったようである。関西医療大学は大学スタッフの方が丁寧に配慮してくださり、体験もさせていただき生徒たちの看護医療系へのモチベーションが高まったようである。
	大学入試対策講演の実施。	3年生の特進・進学コース対象(総合は希望者対象)に実施した。近畿大学より講師をお招きし、学校の説明と、入試に関する説明をしていただいた。受験意識を高めることを狙いとしました。	今、勢いのあるとされる大学に合格するためには、どのような対策が必要か、どのような心構えで受験勉強にのぞむべきかが伝わる内容であった。近畿大学志望者はもちろんのこと、それ以外の大学を志望している生徒たちにとっても合格するために今すべきことがはっきりし、いい形で夏期講習に入ることができた。
進路指導体制の強化	進学実績を向上させる。	進路決定率の向上。	本年度の進路決定率は93.6%であり、昨年よりも1.3ポイント減少した。今後も担任による面談や進路LHRなどを通じて決定率100%を目指す。なお、進路未定者のほとんどは進学浪人であり「もっといい大学を目指したい」とのことであった。
		難関大学への進学実績。	国公立大学3名をはじめ、関関同立22名(含浪人3)、産近甲龍42名、と多くの合格を出すことができた。

#### 学校評価委員会からの意見

<p>学校運営について 今以上に生徒の満足度向上に努めて頂きたい。 在校生・卒業生が母校に誇りを持てるよう、教育方針の理解浸透をさらに進めてください。</p> <p>教育内容について 教科指導は十分されていると思われます。さらに学力向上を目指して下さい。 情報教育について、情報モラルなど昨今社会問題にもなっています。さらに充実させて頂きたい。 環境問題に関しての取組を充実させて頂きたい。 地域が広範囲にわたるとは思いますが、積極的に家庭訪問等して頂けるとありがたい。 ボランティア活動について、さらに充実させて頂きたい。</p> <p>生徒指導について 礼儀・挨拶などしっかり指導されているものと感じます。 公共道徳・交通マナーなどさらに指導の徹底をお願いします。</p>
--